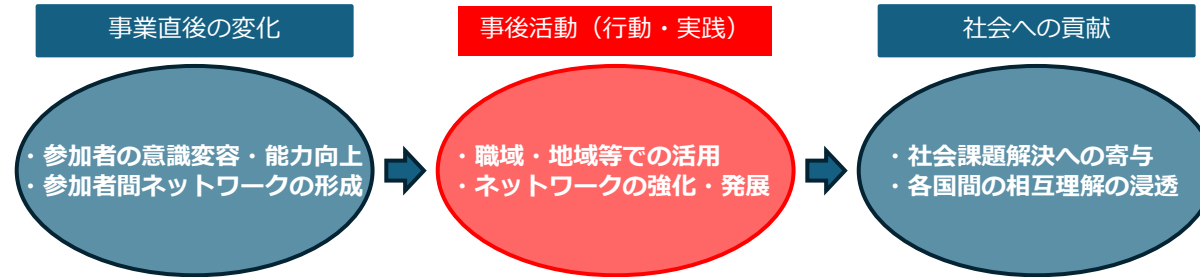


事後活動

事後活動とは何か

青年国際交流事業に参加した青年が、事業で得た**経験・学び・人的ネットワーク**を、各々の職域・地域等で活用して**継続的に発展させ**、**国内外における社会還元**に繋げていく活動。こうした活動を通じて、グローバルリーダーとしての資質の発揮・深化が期待される。

＜事後活動の位置付け＞



事後活動の例

①職域における活動

- ・多文化環境での活躍
- ・事業・政策への国際的視点の導入
- ・組織内の人材育成・国際的知見の還元
- ・国際ネットワークを活用した事業展開



②地域における活動

- ・地域課題解決プロジェクトへの参画
- ・国際交流・多文化共生活動
※事後活動組織等と連携
- ・講演等を通じた知見の普及啓発



③国際的な活動

- ・国際会議・プロジェクトへの参画
- ・対日理解・相互理解の促進
- ・国際交流・協働 ※事後活動組織等と連携



事後活動組織

【国内】日本青年国際交流機構（IYEO）【会員数約10,000人】

- ✓ 青年国際交流事業の既参加青年等による任意団体。全国組織・都道府県別組織が存在。
- ✓ 各国事後活動組織、国際組織（SI及びSWYAA国際連盟）と連携
- ✓ 既参加青年の取組を支援する傍ら、OBOGとして事業の企画・実施にも部分的に参画。



【海外】事業別・国別に組織

※ 日本・中国青年親善交流事業は事後活動組織なし

「東南アジア青年の船」事業

- ✓ ASEAN各国で組織
- ✓ 日本及び各国の組織で**国際組織【SI】**を組織。
毎年総会を開催
【直近】2024年タイ
約300人が参加



「世界青年の船」事業

- ✓ 34カ国で組織
- ✓ 日本及び各国の組織で**国際組織【SWYAA国際連盟】**を組織
毎年世界大会を開催
【直近】2025年エジプト
33カ国約320人が参加



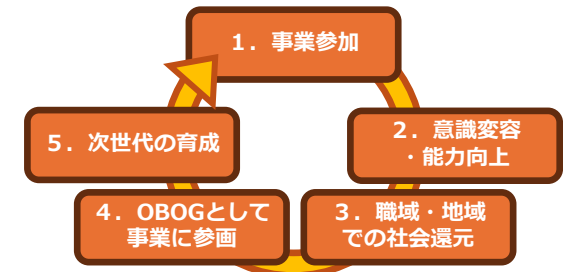
国際社会青年育成事業

- ✓ ドミ共：ADOINDEX

日本・韓国青年親善交流事業

- ✓ 韓国：KIYEO
- ✓ 毎年日韓交流連絡会議を開催

事後活動組織の役割



- ①既参加青年ネットワークの構築・維持
 - ②国内外におけるプロジェクトの創出・実施
 - ③経験・知見の共有・体系化・継承
- により既参加青年の取組を支援するとともに、持続可能な事業運営を支える